

- 1…総会案内
5…母校だより
6…各科だより
9…新卒業生の進路
13…体育系クラブの近況
次 17…文化系クラブの近況
21…会員だより

白水会報

発行所
大阪市立泉尾工業高等学校内
大阪白水会
〒551
大阪市大正区泉尾5-16-7
TEL 大阪 552-2221代
振替 大阪 4-82966
発行人 横山 幸男
編集責任者 北川恒夫



ご挨拶とお願ひ

会長 横山 幸男 (A'17)

に工事に突入しました。
案内にもあります通り、

卒業生各位の最も印象に残
っているであろう旧本館は
七月以降に取り除かれま
す。

その「お別れ記念」行事
を今年の白水会総会を兼ね
て挙行することになりまし
たので、万葉お繕り合わせ
の上ご参會賜わりますよう
お願い申し上げます。

来年秋には残る講堂兼体
育館も竣工の予定になつて
おります。過日の理事会に
おいて、泉工の建物が一新
される時にから、募金運動
を展開して、母校の設備等
の充実を図り、発展に寄与

させていただいて以来、大
過なくその任を務めさせて
いただきましたことは、一
度に会員の皆様と事務当局
のご援助によるものと厚く
お礼申し上げます。

今回國らざるも、もう一期
留任いたすことになります
た。本館の建替え工事中の
ことでもあり、その当初よ
り参画いたしました関係
のこと、誠にうって浅学
非才の身で、その大任を全
て出るかと不安な気持で
一杯です。

現校長の松沢先生ご着任
以来、急に建替え工事のあ
り、あれよあれよという間
算決定、計画の進行があ
り、あれよあれよといふ間

する議案が提出され可決
されました。詳細は事務局よ
り依頼がありますので会員
の積極的なご協力をお願ひ
いたします。

もう一つお願ひとして、
本会59年度の決算報告でお
判りのよう、年会費の納
入がやや増加したことともあ
り、60年度会計は単年度で
正常な会計になることと存
じます。これ重に会員諸
士のご協力によるものと感
謝いたしますと共に、今後
ともなお一層のご協力の程
お願い申し上げます。

本年・来年と多事多難な
年になると存じます。私も
精一杯母校のため、後輩諸
君のために努力いたす所存
でありますので、倍旧のご
声援、ご助力を賜ります。

ようお願い申し上げます。

◆総会と新本館落成 記念パーティの「」案内

待望の新本館が竣工し、思い出
多い青春の一頁を刻んだ本館も間
もなく解体されます。われわれを
見守り続けて来た正門のライオン
も移転されます。

多くの会員の方々に名残りを惜
しみ、旧職員も交えて懐古してい
ただくために次のように計画しま
した。

級友相集いで多数ご出席いただ
くようお願い申し上げます。

記

主催者 大阪白水会

日時 6月30日 (日) 11時

会場 泉尾工業高等学校

(電話五五二一一一一一)

会費 二、〇〇円

◆総会議事

一、昭和59年度事業、会計報告

二、会計監査報告

三、昭和60年度事業、予算案

四、その他

◆新本館落成記念パーティ

◆59年度事業報告

役員・理事会 (5/25)

会報発行 (6/17)

卒業生を贈む会 (6/19)

総会と本館行事 (6/30)

常任理事会 (5/25)

役員・理事会 (4/19)

会報発行 (6/17)

卒業生を贈む会 (6/19)

総会と本館行事 (6/30)

◆60年度事業計画

常任理事会 (4/18)

役員・理事会 (4/19)

会報発行 (6/17)

卒業生を贈む会 (6/19)

総会と本館行事 (6/30)

◆写真撮影

◆新本館見学

常任理事会 (5/25)

役員・理事会 (4/19)

会報発行 (6/17)

卒業生を贈む会 (6/19)

総会と本館行事 (6/30)

年会費の
ご納入について

事務局より

平素は本会の運営に対し
格別のご理解とご協力を頂
き厚くお礼申し上げます。
特に年会費・寄付金のご
納入には一方ならぬ力添

会長 横山 幸男
理事一同

60周年記念事業募金運動成後3年目ではあります
が、60有余年の年輪が栄光の泉工にふさわしく、さらに年輪を広げますよう
金額にご賛同の上、格別のご協力を賜わりますよう
お願い申し上げます。

昭和60年4月

OBの皆様も積極的にご援
助いただくようお願いしま
す。
文化・体育クラブ出身の
O.B.の皆様も積極的にご援
助いたくようお願いしま
す。
募金期限
60年7月～62年3月

えに預かり、お蔵をもってま
いりました。
毎年の会報でご納入をお
願いし、理事の方々の積極

トをきつて以来、60有余年幾多の風雪に耐え工業教育
の使命を果たして来た本館の建物も、老朽化激しく7
月に解体されることになりました。

61年には講堂兼体育館も建てかえられる。

近年我が国における工業技術の著しい進歩が見られ
る現在、母校の建物が一新されるに当たり、われわれ白
水会員が母校の発展に寄与できるもの、後輩にしてや
れることは何かとの観点から、機会あるごとに会員の
方々のご考へを拝聴し、母校の要望も受け聞かわり、役
員・理事会で協議を重ねました結果、大阪白水会員の
総力で募金運動を開催し、母校発展に協力することに
決定いたしました。

「白水の流れを絶やさざるべけんや」鎌田元会長「泉
工の卒業生だから」長野前会長の言葉で表現されてい
る白水会員の心意気をもって、60有余年の年輪が栄光
の泉工にふさわしく、さらに年輪を広げますよう、募
金額にご賛同の上、格別のご協力を賜わりますよう
お願い申し上げます。

昭和60年4月

新本館・体育館竣工
記念募金趣意書

大正11年10月20日に泉尾工業学校が輝かしいスター
トをきつて以来、60有余年幾多の風雪に耐え工業教育
の使命を果たして来た本館の建物も、老朽化激しく7
月に解体されることになりました。

61年には講堂兼体育館も建てかえられる。

近年我が国における工業技術の著しい進歩が見られ
る現在、母校の建物が一新されるに当たり、われわれ白
水会員が母校の発展に寄与できるもの、後輩にしてや
れることは何かとの観点から、機会あるごとに会員の
方々のご考へを拝聴し、母校の要望も受け聞かわり、役
員・理事会で協議を重ねました結果、大阪白水会員の
総力で募金運動を開催し、母校発展に協力することに
決定いたしました。

「白水の流れを絶やさざるべけんや」鎌田元会長「泉
工の卒業生だから」長野前会長の言葉で表現されてい
る白水会員の心意気をもって、60有余年の年輪が栄光
の泉工にふさわしく、さらに年輪を広げますよう、募
金額にご賛同の上、格別のご協力を賜わりますよう
お願い申し上げます。

昭和60年4月

母校の設備・備品等の整
備と環境づくりに寄付す
る。

(例) 図書館の空調装置・
体育館の設備・備品、その
他環境づくり(七・八百万
位)

募金要項

一、募金実行委員会ならび
に目標額は決めないで、会
員の総力によるご協力をお
願いする。

一、一口金額は決めないで
ご自由にご奨金いただく。
一、送金は会報に同封の振
込み用紙をご利用いただき
該當欄で年会費と募金を区
分けしてご記入願う。

一、領収書は発行せず次年
度の会報で記載する。ただ
し特にご入用の方は、その
旨を振込み用紙をご記入い
たします。

昭和59年度 大阪白水会 会計報告

<一般会計>		
収入総額	2,942,448円	
支出総額	2,424,815円	
差引額	517,633円	→次年度繰越
収入の部		
項目	予算額	決算額
1 年 度 繰 越 納	59,967	59,967
会 費 費 用	870,000	928,864
預 金 利 息 収 入	800,000	1,078,520
雜 収 入	10,000	15,097
積立金より繰入	150,000	240,000
合 計	620,000	620,000
支 出 の 部		
項目	予算額	決算額
事 業 費	2,016,000	1,799,420
1)会報作製費	1,350,000	1,180,840
2)総会費	350,000	303,580
3)新入会員歓迎費	125,000	124,000
4)退職記念品料	191,000	191,000
会 議 費	250,000	365,115
通 信 費	35,000	73,200
事 務 費	31,000	31,000
教 育 後 援 会 分 担 金	50,000	50,000
出 葉 費	100,000	99,630
雜 費	20,000	6,450
予 備 費	7,967	0
合 計	2,509,967	2,424,815

<積立金会計>		
収入総額	4,481,130円	
支出総額	620,000円	
差引額	3,861,130円	→次年度へ繰越
収入の部		
項目	予算額	決算額
前 年 度 繰 越 収 入	4,432,049	4,432,049
雜 収 入	130,000	49,081
合 計	4,562,049	4,481,130
支出の部		
項目	予算額	決算額
一般会計へ繰入	620,000	620,000
予 備 費	3,942,049	0
合 計	4,562,049	620,000

監査の結果、正確であることを認めます。

昭和60年4月18日
会計監査 平岡利隆
角岡貞治

<昭和60年度 大阪白水会予算案>		
<一般会計>		
収入総額	2,497,633円	
支出総額	2,497,633円	
差引額		
0円		
収入の部		
項目	予算額	
前 年 度 繰 越 収 入	517,633	
予 会 費 用	870,000	
預 金 利 息 収 入	900,000	
雜 収 入	10,000	
積立金より繰入	200,000	
合 計	2,497,633	
支出の部		
項目	予算額	
事 業 費	1,870,000	
会 報 作 製 費	1,350,000	
総 会 費	200,000	
新 入 会 員 歓 迎 費	130,000	
母 校 職 員 退 職 記 念 品 料	190,000	
議 信 务 費	100,000	
事 教 後 援 会 分 担 費	10,000	
出 葉 費	31,000	
雜 費	50,000	
予 備 費	100,000	
合 計	2,497,633	

▲まもなく取り壊さ
れる本館と体育馆完成まじかの新本
館玄関▼現本館のライオン
の飾り

本館・プールいよいよ竣工

大阪白水会の皆様には、ますますご健勝にてお過しのことと存じます。

平素、皆様方には何かと母校のためにあたたかいご支援とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、五十九年度の「白水会報」にてお知らせいたしました通り、六十余年の風雪に耐え、幾多の人材を輩出いたしました想い出多い本館の老朽化に伴う建て替えも皆様のご協力と市当局のご努力のお陰をもちまして昨年十月二日に着工

しました。これまで、本館には十八教室を確保し、図書館を充実するとともに、家庭科教室の新設、生徒室を拡充しました。一部変更しましたのは、一階の資料保存室を資料室と教頭

室に、二階の教頭室を女子更衣室と資料保存室に変更しました程度で他は同じです。また四階の屋上には長さ二十五メートル、幅一三・三メートルの七コースを有するアルミ製プールが設置され、本館と同時に完成いたしました。

なお、本館の完成に伴い、正門は本校の北側、西館とSD棟の間に移設いたします。

本館の建設が終りますと、引続き旧プール跡地に

し、この七月十五日に完成の予定で、現在、工事は着々と進められております。

現在の本館は三階建で総面積二、五四七平方メートルですが、新本館は四階建で総床面積四、六八〇平方メートルで、先年の会報でお知らせした通りです。本

費収入が主財源であり、是非とも会員の方々の協力な

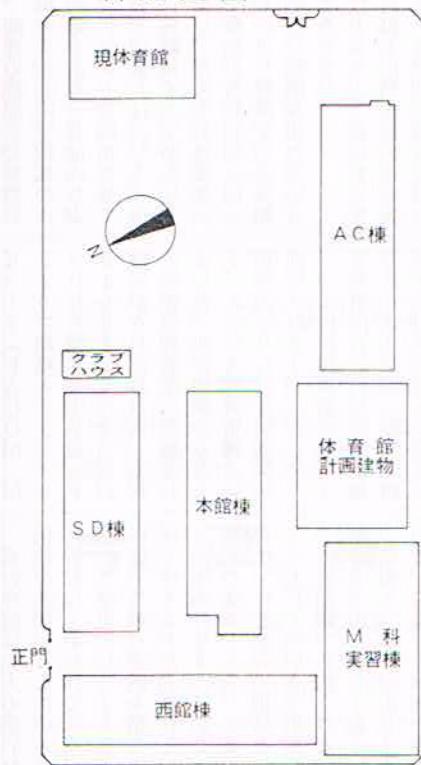
ども協力がなければ、会報の発行も頓挫いたすことにな

ります。59年度の総会で大

会員は年会費一、〇〇〇円を納入する」ことになりましたので、60年度は千五百名以上のご納入を期待しております。

なお、同封の振替用紙には必ず料・卒年をご記入下さい。

新配置図



体育館の建設が予定されています。

体育館は四十メートル×三十メートルで、一階部分の主なものは、柔道場、剣道場および他の実習棟への渡り廊下の設置につきましても引続き要望してまいります。

財政難の今日、これだけの改築工事をしていただくなつては、市当局のことについては、市当局の

阪白水会規約第11条が改められ、「卒業後5年経過の会員は年会費一、〇〇〇円を納入する」ことになります。

なお、同封の振替用紙に

は必ず料・卒年をご記入下さい。

たゞありがとうございました。会運営の支えとなつておりますことに感謝しております。

母校だより

△職員の移動△

◇お送りした先生方◇

◎教頭　日原　大彦先生
昭和五十七年四月に奥尾二工の教頭から本校の教頭として三年間、将来の発展に向け多くの課題を次々に解決され、この度、西第二商業高校長として栄転されました。私は敬愛して止まない先生のあの笑顔、張りのある力あふれたお声に、いためて愛惜の情を禁じ得ません。歌集「花筐」を主宰する詩人日原大彦新校長の御歓迎を祈りしてお別れしたいと思います。

◎織維工業科

米田　茂先生
旧制の京都工専のご卒業で、軍隊生活の後、企業経験を経て昭和三十六年、本校化機械科に就任されました。五年後、織維工業科へ移られ、以来十八年、温和でやさしいお人柄で、生徒への親切な指導ぶりには定評がありました。市立高校芸術祭では、先生の指導された「綾織」の作品は、すべて高い評価を受けてきました。今後の先生のご多幸を心よりお祈り致します。現在講師として学校へ来ていただいております。

◎織維工業科

北海道大学を卒業後、昭和二十八年に赴任され三十二年間にわたり、教育に尽力されました。その間、昭和四十一年より十六年間科長として科の発展に努力されニットの専門家として執筆された教科書は高く評価されています。剣道七段の実力で剣道部顧問として後進の指導にあたりました。今回惜しまれての退職ですが、嘱託として現在も勤務していただいております。

◎普通科

岡村　博夫先生
昭和二十八年以来三十二年間の長い間、ご教鞭をいだきましたが、本年定年でご退職されました。

◎電気科

細野　浩一先生
昭和四十三年十月に本校に御着任以来、本年三月まで電気科の先生としていつぱりお祈り申し上げます。

◎教頭

岡内　繁先生
日原先生の後任として、都島第二工業高校の教頭を務めましたが、このたび都島工高機械電気科へ御転任になりました。専門は電気工学、スポーツマンで気力あふれる先生は、学校施設、設備の全面的再構築の大変な時に、まさに打つつけの先生であり、さらに情報化社会へむけて教員として親しまれています。

◎数学科

中林　徳彦先生
昭和59年4月からわずか一年間ですが、教科指導などと御活躍され、生徒からも大変慕われておられました。この度、三月に引退されました。この度、五年後、織維工業科生徒の育成をお願いしております。

◎社会科

川井田勝朗先生
昭和五十六年立命館大学文学部地理学科を卒業し、今年度銅子先生の後任として赴任されました。スポーツと旅行が好きで、手話サークルで通訳の練習も続けておられます。

△職員の移動△

◇お送りした先生方◇

徒への親切な指導ぶりには定評がありました。市立高校芸術祭では、先生の指導された「綾織」の作品は、すべて高い評価を受けてきました。今後の先生のご多幸を心よりお祈り致します。現在講師として学校へ来ていただいております。

昭和二十三年に奉職されてから三十七年間、機械科の要として邁進されました。「技術屋」そのものの人柄で、その博識多才さは生徒の大きな目標となっていました。新制第一期生から現在まで二二〇〇名の卒業生が指導を受けました。また、科長としての十二年間は設備の充実に大きな尽力を戴きました。

この度定年退職となられましたが、引き続き非常勤嘱託として、ご勤務されています。現在も勤務していただいているところです。

現在、汎愛高校で一年生担任として、生徒指導、教科指導で御奮闘されています。先生のますますの御健闘、御発展を期待します。

昭和五十一年四月から本校に赴任され、社会科(地理)の授業を担当されました。その間、生活指導課・相談室・図書課の仕事を担当され、特にカウンセリングに力をそがれました。また、色染料担任として生徒からも慕われておられました。

現在、教育センターで教育相談に御活躍中です。

昭和59年4月からわずか一年間ですが、教科指導などと御活躍され、生徒からも大変慕われておられました。この度、五年後、織維工業科生徒の育成をお願いしております。

△職員の移動△

◇お迎えした先生方◇

二十世紀に向けて一層の飛躍を期すべき大切な時期に赴任いたしましたが、私は、もとより浅学菲才の身で、この職責の重大さを身にしみて感じているところです。

力ではございますが、誠心

育実践をおこなわれるよ、祈念いたします。

◎数学科　木谷　哲次先生
昭和48年4月から12年間本校に勤務されました。在任中は、生活指導課、機械科担任、図書課長として御活躍されました。教科指導

は、もとより浅学菲才の身で、この職責の重大さを身にしみて感じているところです。

いきつとさせていただきま

す。

◎数学科　山田　佳邦先生
近畿大学を御卒業され、大阪高校、大鉄高校を経て本校に赴任されたフレッシュな青年教師。人柄はまじめで、「わかるたのしい授業」の実践をめざしてがんばっておられます。珠算の腕前は抜群、本校でNO1。

◎数学科　森本　実先生
今年大阪教育大を卒業された23才のフレッシュな先生です。大学時代は空手部で活躍されたスポーツマンです。

◎社会科　川井田勝朗先生
昭和五十六年立命館大学文学部地理学科を卒業し、今年度銅子先生の後任として赴任されました。スポーツと旅行が好きで、手話サー

クルで通訳の練習も続

けておられます。

男11名、女22名担任西本先生(理科)、副担任北川先生となつております。

1年生担任の三輪先生は新進気鋭の先生で、やさしさの中に厳しさを秘め、生徒のよき相談相手として指導にあたつておられます。

○昨年度の実習用設備として、HTスチーマーが購入されました。早速3年生の塗装実習に使用されております。

○本年の体育祭は、本館工事の為に鬼尾グランドにて行なわれますが、そのとばつかりで、体育祭名物の仮装が中止となりました。色染工業科の生徒は中止反対の意向が強いのですが、工事の関係上、仮装用品の搬出が困難だと言われ、泣く泣く了承です。

工夫次第でどうにかなるも

のだと思うのです。来年以降はこんなことのない事を願っております。仮装にかけてきた多数の卒業生の皆様もさぞ残念な事と存じます。然し「背景」は久しぶりに優勝しました。

○本年より春の遠足が復活し、科単位で実施しました。色染工業科は、嵐山公園でリクレーション大会を行ないました。数年前とし、午後は大堰川の河岸

まで遠足では恒例の行事として行なつてきましたが、56年以降中止されていたために、リーダーの3年生が続く、トコトコ最後に岩崎も。

サカゲチ先生、C科科長でC科の先導、石井・池田先生が続く、トコトコ最後に岩崎も。

卒業生の皆様、ますますお元気でご活躍のことと存じます。平素は工業化学科課へ榎本先生が出席されることがあります。生指課の仕事、C科の指導、野球部顧問など、いそがしい毎日です。

さて、60年度、新一年生は、40名(担任)榎本先生(副担)榎本先生と、昨年三年の正副コンビが入れ替わります。それでも遠足の行先決定・下見・コース選定・リクエーション、そして全体掌握とまずは合格点の取り組みでした。

初給料をもらつたと、新調のスーツを着こんだり、ペーマ頭に変身したりして、お土産持参で訪れてくる若者達です。後につづく若者の御指導、御鞭撻よろしくお願い致します。

泉窓会員の皆さん、新入会員、31名が加わりました。男子28名、女子3名の若者達です。すでに先輩諸氏のもので、お世話をなめにきびしい指導を受けて居ることと存じます。

量とジョギングしたが、あとのビールでもとどおり。

マエガワ先生、三担任主任で

美術部顧問、進路指導も、

よろしく頼む。

サカゲチ先生、C科科長で

生が続く、トコトコ最後に岩崎も。

				就職(262名)							
その他	自営	各種専門学校	大学	公	電気ガス業	運輸通信業	金融保険業	卸売小売業	製造業	建築業	
				務	サービス業	業	業	業	業	業	
14	9	4	5	2	24	1	12	2	42	109	10

白水会員の皆様、お元気で御活躍のことと存じます。
さて、今春も二百九十四名の者が母校を奥立つて行きました。
昨年度の求人状況は、一昨年度に比べて求人件数、並びに求人數が飛躍的に増加しました。ただ、科によつては専門職の求人が減少しました所もあります。女子の求人については変化なしでした。これは女子の退職者が減少したこと、OA機器等の導入によるものと思われます。

新入会員の進路

新白水会員の進路の内訳は表の通りです。就職者の内、製造業へ65%、製造業卸売小売業、サービス業の三業に90%の者が就職しております。これは例年通りで変りありません。

昨年度ほど、企業から二
次求人募集の通知をいただ
いた年はありませんでし
た。

株式会社新柴工場 教野 由
カネボウ化粧品大阪第一北
販売部 草ノ瀬真子
田岡化学工業 小取強夫子
信用組合大阪商銀 ニコロペイント
白川 和永

奥野製薬工業㈱ 太田美智子

大坂精工硝子
幸大硝子
アサヒ硝子
大坂精工硝子
中山製硝所
鍋谷
長谷川家
潤上
古川
靖
長江
伸吉

◆織工業科
卒業生の進路

販売業	坂壳 輜	藤井 厚美	富士機工電子㈱
日本シール㈱	森木 昭人	照屋 紗子	
日本精化學工業㈱	森口 美幸	（財）日本紡績検査協会	
日本紡績検査協会	芳中 孝子	長尾 弘重	
自営	大岩 敏彦	バイエルジャパン㈱	
家事	伊藤 晓美	野田 昌美	
順久	ヤマシヨウ㈱	萩原 通代	
和恵	㈱新日本プロセス広芸社	原田 伸吉	
好子			
武志			
家事			
但岡奈緒美			
採用野毛酒工場			

新白水会員の進路の内訳
は表の通りです。就職者の
内、製造業へ65%、製造業
卸売小売業、サービス業の
三業に90%の者が就職して
おります。これは例年通り
で変りありません。

（進路指導係長 大平勝彦）

次求人募集の通知をいたた
いた年はありませんでした。
昨年度ほど、企業から二
社ネボウ化粧品大阪第一北
坂元株式会社 草ノ瀬直子

大学進学者5名の内、3
名は夜間大学生で昼間は働
いております。

田岡化学工業株式会社 小取彌矢子
信用組合大阪商銀 白川和永
ヒヨコペイント株式会社 高橋和之
イズミヤ株式会社 田中幸子
三木産業株式会社支店 田中昌吉

車輛塗料・建築塗材専門メーカー
ISAMU

イサム塗料株式会社

代表取締役社長 清水博司

■東京、土佐、名古屋、滋賀、山根、仙台、庄島、高松、鹿児島

あらゆる熔接専門

柳 焰 接 所

柳 恒 雄
柳 和 雄 (M41卒)

営業所 大阪市西区九条南2-12-5
電話大阪(583)0647番(代)

自宅 大阪市西区九条南2-24-4
電話 大阪(582)3756番

“いいものを いつまでも”

御婚礼家具・応接セット
スチール家具:カーテン・カーペット

株式会社 才ノ工家具

代表取締役 尾上一雄 (A34卒)

本店 大阪市西区南堀江3-3-8

TEL (531) 4091 (代)

豊中店 豊中市北桜塚3の1の5

H E C

国内唯一のHFC製造メーカー

フジケミカル株式会社

代書取締役

宮崎精一(D16卒)

九

二漢書行(155章)

三浦尚行(A55年)
昭和十四年

松本光昭(A60卒)

大崎利華(D60卒)

伊丹市東有岡1-91 TEL 0727-82-4793

あらゆる建設機械とポンプの レンタル & リース

(有)日商機械

本 社 大阪市浪速区木津川 1-7-2

L (06) 5 6 8-3 2 3 6 ~ 7

営業本部 大阪市浪速区芦原町1176～3

L (06)568-3 2 1 1 (代表)

姫野康通(M47卒)

体育系クラブの近況

バスケットボール部 三
年生5名、二年生5名、一年生9名、マネージャー3名以上が部員の構成でやる気十分、毎日練習に取り組んでいます。おしいかな身長が少々低く、リング下での活躍が思うにまかせません。今年度よりルール改正があり、ロングショートが3点になりましたのでロングショートの練習に取り組んでいます。

今年は合宿を学校で行なう予定ですので先輩諸氏の協力を頼み致します。
男子バレー部 15名とマネージャー13名の計18名がよい成績を残してくれたので、本年もその影響を受け意欲的に活動を行なっております。去る四月十四日(日)には本校でバレーボール部卒業生の会「かかる会」を開きました。50名余りのO.B.O.G.が集まり体育館でプレーを楽しましました。大勢の先輩が

員の加入がなかった女子バレーボール部ですが、この春から一年生(色染工業科)の三人が入部して来ました。高校生のクラブ活動として、まだ何も知らない一年生で、以前の様に「試台」が出来る様になるまでには、少し時間がかかると思いますが、根気強く、体力作りを中心とした基礎練習に、日々努力をしていました。(木原・宇佐見)
水泳部 新本館建設のため、昭和三十五年以来お世話になりましたブルーともお別れすることになりました。替わって八月には、新本館の屋上に新しいプールが出来上がる予定です。

現在部員数16名、マネージャー1人、心機一転して夏の高对抗、市立大会に向けて陸上トレーニングに励んでいます。
O.B.O.G. の皆さんも、新ブルーが出来ましたら、一度部員達を励ましに来てやつてください。

剣道部 永年、本校剣道部はもとより大阪府体連に築かれた辻村弘先生が、本年三月末をもつて勇退されました。実施によって、昭和六十年三月三十一日に定年退職いたしました。

顧すと、昭和二十八年四月一日、大阪市教委の転勤官へ着任以前の六年間の前歴と合せると、昭和二十四年四月以来、三十八年間時代に赴任してきました。それ以来、実に三十二年間

年三月末をもつて勇退された。ここ数年、部員数の減少で満足な成果を認められなかつたが、いよいよ辻村先生の永年の御尽力に応える為に、勝てる、練習・部の運営を進めていかたい。先生の勇退は残念ではあるが、O.B.会である白水剣友会の支援も強固になつてきています。

硬式テニス部 例年のよう

に、春の公式戦は島上高校に1対0で惜敗しました。それ以来チームコンディションも上がり、夏には、再起を期して日々、外で練習しています。

硬式テニス部 例年のよう

に、春の個人戦では、3A²の中島君が、府下ベスト16まで進出した。また五月始めに進出した。また五月始めの団体戦では、女子がベスト16、男子は32まで勝ち進み、特に女子はくじ運にめぐまれたとはいえ、立派な成績であった。

(O.B.会の組織がないようですが、O.B.会を作成したいと思います。O.B.の方のことを目標として頑張っておられます。)

硬式野球部 昨年十二月に学校から南へ徒歩10分の所に、泉工設グラウンドで、部員達を励み中に行われます。それ

までは、校内での練習は出

来ません。しかし新入部員が16人。二年生10人、三年生9人と世帯は大きいです。

陸上競技部 近年練習が完成しました。広いグラ

バスケットボール部

らはげまされ部員

心強く感じたことと思いま

す。

これまで、学校の状態は以前の男子生徒ばかりの頃と

して、創立当時の校舎の老

朽化のため、次第に建て替

えが進められて、この原稿

女子バレー部

久しく部

員の加入がなかった女子バ

レーボール部ですが、この

春から一年生(色染工業科)

の三人が入部して来まし

た。

大変

で、まだ何も知らない一年生で、以前の様に「試台」が出来る様になるまでには、少し時間がかかると思

います。

皆さん、どうも有難う御

座居ました。今後とも、ど

女子バレー部

久しく部

員の加入がなかった女子バ

レーボール部ですが、この

春から一年生(色染工業科)

の三人が入部して来まし

た。

大変

で、まだ何も知らない一年生で、以前の様に「試台」が出来る様になるまでには、少し時間がかかると思

います。

皆さん、どうも有難う御

座居ました。今後とも、ど

うかよろしく御願い申し上

げます。

甚だ簡単ではあります

が、定年退職の御挨拶とさ

て替えが出来て、泉工は面

目を一新することになるで

しょう。

多くの目につく頃に

はおそらく、古い本館も建

つて皆さんの目に付く頃に

はねらしく、古い本館も建

つて皆さんの目に付く頃に

<p

将和田を中心によくまとまり全国大会を目指にがんばっています。七月二十二日より二十六日まで本校で合宿しますのでご多忙中でしょですが、ご指導お願い申上

ます。

卓球部 現在、卓球部員は三年生3名、二年生6名、一年生1名の計10名で活動しています。

昨年十月の市立大会団体戦で、今年卒業した部員を中心として準優勝を修めました。現在の部員も市立大会を目標として練習に励んでいます。

バドミントン部

一年生

から6人の加入があり、現在は17人の部員になります。市立大会では、男子が団体、個人戦共に三連覇をとりましたが、今年は他校が強くなつてきましたので大変厳しい状況であります。しかし女子は、例年になく充実して来ましたので期待しています。又府大会に於いても4回戦進出を目指して練習に励んでいます。先輩諸君も忙しいとは思いますが、試合前の日曜練習や合宿時にはよろしく御指導下さい。

自転車部

現在、自転車部の部員はわずかに2名で、校内での練習もほとんどできていません。

ラグビー同好会

OB会

柔道部および
OB会近況報告

賴問 武智宏明

去る、4月29日の全日本

さで、そのクラブですか
現在、部員21名（うち有段者17名）とまだまだ少人数ですが、やる気のある部員ばかりで充実をしております。練習の方ですが、平日は学校の道場を主に、日曜祝日は「出稽古」を中心に行なっております。部員達には、休日がなくつらい思いをさせておりますが、全員やる気満々で頑張っています。その申表がありまして、昨年度は次表のようないい成績を残すことができました。



かえる会

八二 雜志

去る4月27日(土)泉商
カントリクラブに於て3組
で11名が参集。昨年12月主



にもプライベートで行いましたが、今回一応第一回コンペとしてキャラウェイ方式で賑々しく催しました。表彰はすき焼きバーでの席上で、全員に各賞が当る程豪華デリーシャスでした。但しスコアの程は各位の名誉のため内緒です。

優勝角井 進、二位上杉 平、三位松藤芳博、B.B. 檜尾俊明の各氏の成績でした。次回 7月18日(木)春日台、統いて 10月 17日(木)泉南と日時・場所まで決定する程、次回にかける意気込み盛んなものがあります。加えて往年の城崎遠

文化系クラブの近況

最近の若者指向というのでしょうか、低調といわれる本校の文化活動の中について、軽音楽部のように、部員数、活動状態共に群を抜いて盛んで、文化祭、歓迎会、卒業生を送る会等の校内行事に、日々の活動の成果を表わしてくれる部もあれば、かつて盛況であった部が、部員数が激減し活動に支障を来たしていいる部もある状態です。がしかし大・小の部にかわりなく文化部部員一人一人は、日々その活動に意欲を燃やし励んでおります。

さて、本年度の文化祭は、新体育馆で初めての文化祭であり、上履きの問題、展示バナーフの場所をどこにす

るか、ステージ会場が校庭の端に離れてしまった校内に新しい工事が予定されている等々、種々の問題が山積みで、例年とは勝手の異なる文化祭になるのではないかと考えられます。が、11月9・10日に予定されており文化部としても、どのよ

うな文化祭になるのかと不安いっぱいの状態ですが、なんとか、問題解決を計り立派な文化祭にしたいと考えております。

以下に各クラブの部活状態をあげていただきましたので、御紹介致します。

△ 軽音楽部

軽音楽部は、現在校内において最も大きなクラブになりました。クラブ内のグループも、かなりの数になりました。練習室をかねる部室では、十分なる練習を行うことが出来ない程です。

しかし、練習風景、ステージ用機材が充実し、その成果も、文化祭・歓迎会等多くの場で発表するに至っております。

また、今年度は、村田先生(E科)を新しく顧問に迎え、夏季合宿を計画し、ますます、活動も活発になります。

△ 計算機

マイコンチップの誕生以来各種機器のインテリジェント化も急速に進展し、学校での情報処理関係教育とのギャップが益々大きくなっています。

今年度、計算機部は毎週三日、計算機室を活動の場として端末機や各種マイコンは作品を出して、一応の成

果は得られました。が、腕を使いワープロ、ペーパークラク、機械語を学び、更にマイクロマウスの製作を通じてハードウェアも勉強し、文化祭で発表できるよう部員一同頑張っております。

△ 自動車部

自動車部では、前年度に続いて省エネルギーで走行距離を競うマイレッジマラソンに出場しました。今回

は車の構造を新し、軽量形鋼に穴をあけるなどして、より軽量化を計つくり、レースに臨みました。その結果、リッター当たり90キロと、かなり向上しました。今年は150キロ以上を出して入賞することを目指に頑張っています。

また、今年度は、村田先生(E科)を新しく顧問に迎え、夏季合宿を計画し、ますます、活動も活発になります。

△ 写真部

写真部の、この一年間の印象的な活動といえば、夏休みの京都での撮影会で

す。真夏の古都を歩きまわっての撮影会は暑さばかりが身にしみて、ファインダーを通してのぞくと、汗でぼやけてくるし、頭もぼけてくるといった状態で、カメラ狂いつります。

た感じでした。それでも市立の高校芸術祭・文化祭にいきたいと思います。

例年と同じく、校外の作品発表として、府下の殆どが高校美術部が夏に天王寺美術館に集まる「高校展」で「ロック展」校内では「文化祭」と大きな四つの展覧会を予定しています。ただ残念ながら失格となり90キロと、かなり向上しましたが、制限時間オーバーで残念ながら失格となりました。今年は150キロ以上を出して入賞することを目指して頑張っています。

秋の「市芸術祭」そして「ロック展」校内では「文化祭」と大きな四つの展覧会を予定しています。ただ残念ながら失格となり90キロと、かなり向上しましたが、制限時間オーバーで残念ながら失格となりました。今年は150キロ以上を出して入賞することを目指して頑張っています。

あまりの会合の盛りあがめで、ついに替えて一日合宿を夏の候に実施する事まで決定しました。同好の志より、次回こそはのチャンスが続々、優勝力アップ(フロウグカップ)まで用意します。賞品も乞うて用意します。

(水谷)

高校野球きり絵展



切り絵説明

二星上で躍動を切り絵で表現してみました。
(資料は朝日新聞社の御好意によりスボーツ欄を参考にさせていただきました)

二日(月)から二十六日(金)まで日生球場近くの大坂市立中央青年センターにて開催しております。先輩に、きり絵で表現してみました。選手の動きを出せるよう努力しましたが如何でしょうか。この「高校野球きり絵展」は来る七月二十日

(庶務課 山本 雅教)

△映画研究部

なさんはどんなクラブを連

想されるでしょうか。

私が入学当時の事です。

まだ学校のこともよくわからずいつも神経を尖らせていました。そん時、向こうから怪物のぬいぐるみが歩いて来るのでした。それが私と映画研究部との初めての対面でした。

映研がどのようなクラブかを正確に答えることは難しいのですが、簡単にいって、映研は、八月を使って撮影した私達の映画作品を上映することを柱とし、他にアニメーション・セルを制作することも行なっています。

入部した当初、映研がどんな活動をしているクラブなのかよくわかりませんでした。先にあげた怪物が撮影のためにつくられたものだと気づいたのは、それからずいぶんたってからのことでした。のん気なものだと思いません。

毎年新人部員は二十人ぐらい入部します。しかしこれまでは入つてもすぐにやめられる者が多く、私の学生も最初は二十人ぐらいでした。なんうような状況でした。なん

なさんはどんなクラブを連れて来るのです。それが私が映画研究部との初めての対面でした。

我々映画研究部はすでに

山西省に駐屯する自動車連隊に着任したら、三ヶ月後

年に北支派遣軍司令部

(部長 3D 楠本雅人)

私の体験

D7 柴田惇志

とかして新一年に残つて欲しい、今までの映研ではなくとしつかりとした活動ができる映研をと、二・三年みんなは必死でとりくんでみる事にしたのです。

今まで低調であったベースを根本的に変えねばならない、そのため毎日活動の後には二・三年が残り議論をたたかわせました。

その中で、今まで表面化していかなかった問題が一気にふき出しました。上級生が八ミリ一つにしても十分に扱えない事、資料や資料が不十分だったなど数えたらきりがないほどでした。しかし討議を通じて新入部員達もクラブの不十分さに理解を示してくれるようになり、部員もほとんど残り、年に一度の発表の場は映研を自分で築いていくこと、という姿勢も強いものになっています。

しかし新しい難問題も現われました。映研の活動には欠かせない八ミリカメラが製造中止になり、ビデオカメラに切り替えねばならないくなるかも知れないという問題です。部員一同頭を痛めております。

文化祭に向け撮影を開始しています。私も最後の仕事として文化祭を絶対に成功させようと思っています。

思えば終戦まぎわの十九年一月北支で現地召集を受け、その入隊直前、偶然に

召集になった。それは好都合、お前にやらせる仕事が

あるから、化学教科書を読み直して待つておれ」とて

田を訪ねて製塩工程から僅かしか取れない二酸化チタ

ンの採集現況調査、天津に付との転任命令が届き、そ

れで二回も北京へ連絡に向

れ、北京周辺の警備についてのこと、その三ヶ月後終戦となり、私自身は「ボックス」とした次第です。所がこの地域からの内地引揚は案外早くなつたため、再度

司令部勤務となり、天津にて伺つた業務に当惑した。

それは軍需品の「現地自活」と呼ばれる生産促進管

理であり、先づ第一に手がけたのは自動車代用燃料となる「アルコール」蒸留裝

置の建設促進に青島、濟南に着任したら、三ヶ月後

に会いました。

ついでながら私は在校当時の軍事教官「西脇武」氏は終戦當時、大佐として羅南要塞司令官でした。

志村光広展

—捺染とキルティング—

色染料27年卒業の志村光

た。

庄氏の個展が、4月11日か

ら10日間、北区芝田町のギ

ヤラリーラ・ホールで開催

されました。

氏は、35年の関西総合美術展第3席受賞以来、

セシントン(ワシントン)のどん帳アザインを制作し

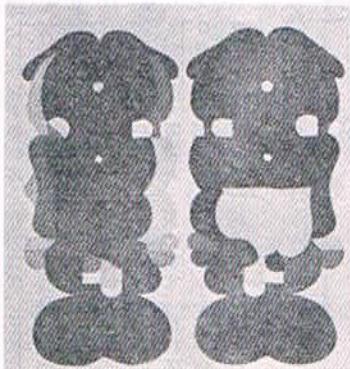
たり、数多くの現代作家展

に招待出品されておりま

す。

現代、京都府立大学女子短期大学部教授として活躍

中であります。



山西省に駐屯する自動車連隊に着任したら、三ヶ月後

年に北支派遣軍司令部

(部長 3D 楠本雅人)

九紫会の集い

S 9

泉工の制服であった紫紺
色の冬眼が昭和九年を最後
に改められましたので、紫紺
を記念して九年卒紡織科の
会を九紫会と名付けまし
た。

通総のとれるもの十一名に案内したところ、松井安臣、和田太郎、山岡八三雄、山本昇、船曳大造、松本吉発、松下善次郎氏が出席、遠藤喜三郎氏は急用のため欠席。卒業後五十年記念クラス会に実に五十年ぶりに伊澤先生とお会いできりて昔話に花が咲きました。



昭和14年卒紳色窓交流

14 卒業

59年11月25日、なんば大野屋旅館で21名の多數参加で盛大かつ和気あいあいの空氣一杯の裡に滞りなく終了しました。

この会は例の「1年会」
と十六窓会の同窓会をその
まま存続し、今後それを
の会が実施する会合に際し
ては、夫々主催する会から
両者の会員に案内する。す
なわち両者の「合併」では
なく「相互乗り入れ」の形
で今後の充実した交流を図
るユニークな会である。

その頃から山を歩く始
め。

E 56

本年2月9日(土)卒業
後はじめての同窓会が山本
華、中家吉の両話で開かれ

E 57

暮もおしこまつた昨年の

ついて話がはずみました。
一次会だけでは4年間の
空白を埋めるには時間がた
りず、二次会、三次会とひ
っぱり回され、楽しいひと

暮もおしませました。昨年の
12月30日に開かれました。

間があつて、うるさい間に過ぎました。

D57 同窓会

昨年まで泉工の美術の光
をされ、現在は工芸高授
業美術科に在職中の渡辺章
先生に日本画を制作して
き記念品として贈ることと

生きの頂がで、谷口先生も大変喜んで居られました。

D57 同窓会

中華書局影印



M41 谷口學級同窓会

なつたにも拘らず、鋼子先生及び約半数の出席者がございました。その反面、副担任の六辻先生が御都合により欠席された事と、仕事や前々からの予定等で、

次に会う時、皆はどう思っているのでしょうか。それを次回のお楽しみにして次の幹事さんへ。

(森 紫乃)



卷一百一十五

色泉会

59年度の総会と卒業生の歓迎会が、昨年7月28日、京橋の朝陽閣にて開催いたしました。当団は、五十名の会員が集まり、老若男女の別なく楽しく夏の一夜を語りかつ飲みました。

今回も福引きを行ないました。紙上を借りまして、あ

59年度の総会と卒業生の歓迎会が、昨年7月28日、京橋の朝陽閣にて開催いたしました。当団は、五十名の会員が集まり、老若男女の別なく楽しく夏の一夜を語りかつ飲みました。

今回も福引きを行ないました。紙上を借りまして、あ

西明得治(11)、岡崎弘男(17)、原幸雄(21)、平岡利隆(31)、坂口昌博(31)、大島邦夫(29)、小川治(30)、黒田一三(34)、若林繁(35)、二見忠彦(38)、尚、会場設営にあたっては、岡崎弘男氏の絶大なご協力をいただいたことを申し添えるとともに、お礼申し上げます。

松沢校長

松下電器産業株社長

山下俊彦氏



(C12卒)と面談

中国の人民日報の社長以下

二十名の要人と会談中で、

じゅう分の時間がとれませ

んでしたが、気さくに磊落

な感じでお話しをすること

が出来ました。本年度の白

水会総会に対するメッセージー

ジを戴き、来秋の落成式に

は、是非ご出席をお願いし

て、お別れをしてまいりま

した。

以下、メッセージを掲載

させていただきます。

激務のなか、貴重な時間

をさいていただきましたこ

とに心から感謝申しあげる

次第です。

(松沢記)



会員だより

母校に寄せられた会員の方々の近況をお知らせいたします。会費納入、住所変などの機会にどうぞお便りをお送り下さい。

S 14 堀井 健一
大阪市天王寺区上本町六
十九十青山ビル三〇八号
で税理士事務所を開業。

S 14 寺岸 治雄
紡・色同窓会を昨年七月
十四日一泊で鳥羽において
開催、旧交を温めました。参加
者十一名中七名分の年会
費をまとめて送付します。

S 14 堀井 健一
川西市大和東五丁四三一
十に転宅しました。
S 29 牧野 擬
七月初めより本社企画開
発課に勤務しています。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 沖 由文
老令ながら元気です。
S 9 松本 吉堯
近年ますます多忙となり
まして、役員会への出席も
せず、その他の会合にも欠
席がち、誠に申し訳なく存
じています。

S 16 桂川鉄一郎
年会費を三年から五年位
前納する方法も考慮下さ
い。
S 16 楠本 隆夫
当地は大阪より一時間、
近鉄桔梗ヶ丘地区の中、鮎
も釣れる風光明媚な田園都
市です。鶴ヶ山被服工業所
代表取締役として従業員と
共に縫製に精励中にて、自
當は停年がないので、まだ
多忙な毎日です。

S 31 矢部 俊司
自営の布団業(製造販売
・及び貸布団)に頑張って
おります。白水会理事の方
先生にご指導願ったことが
昨日のように思います。先
生お元気で。

本年三月末日、三十七年

S 12 林 利一
昨秋京洛北の地でクラス
会を、旧師の伊澤透先生の
ご出席を戴き盛大にされました。

S 32 竹原 栄一
ボーリスカウト三島地区
の副コミッショナーとして
青少年の指導育成に奉仕し
ております。

S 35 福岡 利明
大阪に転任しました。住
所は住之江区南港中二丁
三、十一一五〇八です。

本年三月末日、三十七年

S 12 山本 美章
松下電器定年退職後早や
四年、夫婦とも割合元氣で
本年七月久し振りに五人目
の孫が誕生、にぎやかで

S 37 山崎 健
小学校P.T.A副会長・松
山市少年補導委員として子
供の育成に汗を流していま
す。仕事を頑張っておりま
す。先生方のご健勝をお祈
りいたします。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 13 藤田 明雄
松江市の一畑電気鉄道に
勤務しております。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

本年三月末日、三十七年

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。

S 17 武藤 寛志
間の勤務を終え、四月より
第二の人生に励んでおりま
す。卒業以来、四十年を経
た今、学校時代を懐んでい
ます。</

S 38 兼本 武紀 (宮城) 京都市西京区大原野東境 谷町三十一—五七に住所が 変りました。	S 40 打越 一雄 三年前より健康産業「ヘル ス打越」を経営しています。	S 46 横渡 春香 (西田) 結婚して岐阜に住み五年、四才と二才の男の子の 育児で大変です。主人も高校までは大阪だったので、 よく大阪は話題になります。
S 41 阪本 保 和泉市池田下町二四七七 一十二に住所を変りまし た。	S 42 大石 繁男 コンピュータ業界に入り 十年目を迎える大阪・東京 を中心に西は熊本・福岡か ら山陽道、東は名古屋・東 海道を飛び廻っておりま す。	S 47 龍野 篤子 (稲本) 相模原へ来て早や一年、 頑張っています。
S 43 平田 一男 高槻市役所下水道部に勤 務しています。	D 2 白石 錠 「会報を読んで」 年古りて 思い出多き 館の うち壊されて 姿消 すとは、 元氣に暮して居ります。	D 16 / 12 是永 浩作 本年3月で住友電気工業 ㈱を停年退職しました。
S 44 山崎 純子 (太田) 仕出し屋を始めて十年に なります。夫婦仲よく、明 るく、楽しく毎日暮してお ります。子供も元気に育 ち、長女は来年小学一年で す。	D 4 奥川 敏郎 お陰で元氣ですが、何分 老令で足腰が弱りました。 中8名集まりました。住居 が散つて集り難かつたで す。	D 17 / 12 近藤 正 58年1月、名古屋市の大 同特殊ilikを退社。現在、自 宅におります。
S 45 北国 和子 (橋本) 昨年結婚いたしました。	D 13 中務 昌治 老人会の行事、ゲートボ ールの試合等で日々楽し くしてます。	D 29 田中 隆二 学卒30年を過ぎ、会社の 方も32年目に入り、責任も 同特殊ilikを退社。現在、自 宅におります。
D 16 中川奈良一 58年10月に結婚し、昨年 の11月に父親になりました 59年7月13日付で、枚方	D 13 中務 昌治 勿論、健康に留意する事 を願っております。	D 46 井上 真知子 (北鷲) 久しづぶに学校へ来て、 先生方皆元気(?)そうで よかったです。学校の様子 すっかりわりましたね。私 でも門をくぐり、若かりし 頃を思い出して、若がえつ たみたい。皆さんも若がえ りたい人は、学校へ来てみ ては如何ですか?
D 42 川本 映子 (武田) 主人の転勤で横浜にやつ てきました。	D 49 深井 章子 (寺内) 2人の子供に毎日振り回 されて、もう卒業して10年 もなっていたなんて全然気 がつきませんでした。	C 3 平尾 秀夫 住所変更、堺市緑ヶ丘北 町4丁4番5号
D 49 岡村 恵 (鎌木)	D 42 川本 映子 (武田) 主人の転勤で横浜にやつ てきました。	C 9 麻野 薩治 S 59-1から電話番号変 更〇七二六一八七〇三八七八 本年は卒業後40年、人生 長いようであり、又短い様 で有り、戦時中、又は、終 戦後の苦労色々有り、現在

常に技術で一步前進

石けん・洗剤総合メーカー

創業65年を迎え、躍進する

東邦油脂株式会社

〒544 大阪市生野区巽東2-19-19 電話06-754-3181

取締役社長 西本久雄
(A11卒)

大阪より遠く離れた岡山

C 4 長野 蘭藏

た。

の地で飲食店を主人と共に々

経営中。子供2人の母で

す。学校での事、なつかし

く思い出します。

D 45 田中 真澄

娘小4年、小2年生とす

くすく育っており、私も元

氣に毎日飛び回っておりま

す。

D 45 田中 真澄</

さつき野西2丁目12-3

野西2丁目12-3

さつき野西西2丁目12-3
C37 青木 賢治
イソライト・バブコック
耐火煉瓦セラミックファブー
製造に勤務。

C 41 佐々木敏治
アサヒ銘陶株勤務

C 41 佐々木敏治

A12 中嶋 英造
現在、病氣療養中。

りますが、仕事に関連して母校でお役に立つことがあるれば、お手伝いしたいと存じております。

が、54年4年の統一挙行で吹田市の市会議員選挙に當選させて頂きました。年4月二期目の当選で在公害対策特別委員長として頑張っております。ともよろしくお願ひ

その反面、緊張感がうすてきていたので、疲れが体にまとまつて終りました。

A-13 桑川 康雄
また元気で会費を送ることが出来るのを幸と思つて
います。毎年納入会員が六〇〇名以下と聞き、情ない
気がします。お互ひ頑張りましょう。

A5 宇野井三郎
停年退職後、個人の会社でつがなく過していま
す。

A 8 戸川 政美

A9 中野 勝雄
お陰で達者であります。
「白水会報」はなつかしく
見ています。軟式テニス、
ゲートボールと、もう健康
だけが生きがいの毎日。
会員諸君の健康を祈る。

A 10 有田 正雄
「目下健在です」毎年毎年同じ文句になつて居りますが、これで良いと思って居ります。いつまで続くか。

A
11
井川英三
白水会報、事務局の皆さま
ごくろうさまです。満65

員で第一線で元気に勤めています。	A 12 中嶋 英造	現在、病気療養中。
元気です。老夫婦の生活で孫達の来るのを楽しみにしているこの頃です。	A 12 高津 友三	C 3 駿先輩勲四等瑞宝章
受章のお祝いに支部一同より記念品を贈呈することになりました、副支部長の本多一実氏と二人でご自宅にお届けしました。(東京文部長)	A 16 林 幸一郎	A 13 松本 諒士
会費納入をまとめてることを決めては、国鉄新長田駅より徒歩六分、就職可能者あれば世話して下さい。工業用ゴム製品製造販売です。	A 16 / 12 村上 仁	A 12 中嶋 英造
今年四月末をもつて定年を迎える、のんびりしています。	A 16 / 12 合田 富美雄	A 12 高津 友三
大阪ガスの傍系会社に要請されて、本年一月から委託業務を自家営業という形式で開店している。適当に仕事があり、暇つぶしに最適。なお時々同窓生と一緒にやっている。	A 18 河村 委治	A 13 松本 諒士
引き続いだ広島大学工学部で研究、教育に当つてお	A 18 河村 委治	A 18 宇賀 節雄
りますが、仕事に関連して母校でお役に立つことがあります。お手伝したいと存れば、お手伝したいと存ります。	KK 中山製鋼所勤務。	A 24 福島 寿雄
今年三月二十九日付で、川西署(次長)から兵庫県警察本部少年課理官(少年補導官)として青少年問題を担当することになりました。始めての仕事ですが、頑張っております。	A 25 外間 宏治	A 21 和多田 清
59年8月に東京へ単身赴任しました。	A 32 植田 輝夫	A 24 福島 寿雄
卒業後入社した同和金属工業㈱にて品質管理課長として頑張っています。東工の發展を期待します。	A 35 多川 碩一	A 18 宇賀 節雄
会報第57号1巻の「西出先生」の個展、NHK奈良ニュース6時30分及びNHK大阪朝のニュース7時で過日放送させていたしました。	A 37 宇都宮正則	A 18 宇賀 節雄
卒業以来、東芝電気大阪工場で塗装、メッキ、排水処理関係の技術係として54年まで勤務いたしました。	A 37 宇都宮正則	A 18 宇賀 節雄

が、54年4年の統一地方選挙で吹田市の市会議員に初當選させて頂きました。55年4月二期目の当選で、現在在公害対策特別委員長として頑張っております。今後ともよろしくお願ひします。

A 40 晓 栄次郎
町名変更で東住吉区東原辺2-18-22が新住所。蔬菜全般にて頑張ってます。

A 40 西尾 憲一
A 40の同窓会を8月18日に開催予定。

A 45 豊島 良次
店を出して8年になります。子供も一人出来て頑張っています。吹奏楽の方もまた続けています。コンサートも年に4・5回は出でています。

M 31 細田 博
自家にて家庭電器製品の販売修理を昨年初めより開業しております。

M 37 大川 伸
アメリカへ長期出張中であります。私も子供をつれてアメリカへ行つてましたので米費の払込みが遅れて申訳ありませんでした。

M 39 一居 豊
毎年会報を楽しく拝見しています。早いもので卒業して20年、中年と呼ばれる年になりました。頑張ら

くては……。
M 42 井澤 徳夫
昨年7月より今年2月で、自身で石油精製フランの試運転のためイラクにてきました。無事任務を了してはつとしています。在学中もっと英語の勉強をしておけばよかつたと後悔しています。古代メソポタミアの遺跡は素晴らしいです。
M 45 澤 昭二
私も昨年の5月には太明雄先生に仲人をしていただき新しいスタートを切りました。今後ともよろしく。
M 49 新垣 勝彦
富士ゼロックス㈱に入社10年目、元気で頑張ります。
E 60 稲山 匠中
今年の2月に、電気科卒業して3カ月が経ちました。私は、武田薬品工業勤務する傍ら、大阪工大大学の夜学へ行っています。入社した頃は、5時刻で仕事が終わるのがうしかったのですが、大学に行き出すと5時30分から講義に間に合わないし、義が終っている事がほとんどなのでとても疲れます。近、やつと激変した生活スムになれました。

その反面、緊張感がうつてきたので、疲れが体にまとわりになります。武田薬品では、生産機などの自動化や省力化をかるための仕事をしていく。仕事が多いようです。

大学では、電気工学の勉強をしていますが、仕事と違って普通高校と工業高との差を見せつけられました。数学にしても英語にてもあまりレベルが違うのでびっくりします。

5月17日に、武田白水の新入会員歓迎会があつた。先輩の方々より、歓迎を受けました。私は、武田薬品に先輩が2、3人しかいないと思っていましたが、名をこえる先輩方がおられたことを知り、驚いています。これからは、前進することを考え、仕事と勉強にがんばって行きたいと思



昭和59年度

会費・寄付納入一覧

● 紡織科・織維工業科

一〇、〇〇〇円 円

布谷伊光

日笠二清

藤條正夫

7 加藤正義

松本吉堯

9 松久須之助

桶本隆夫

16 桶本隆夫

三浦良貴

10 森田三蔵

山崎峰子(太田)

11 山崎峰子(西田)

渡辺春香

12 野田英夫

林利一

13 山本美章

藤崎豊彦

14 金田毅

寺岸治雄

15 多胡正治

大坪吉行

16 藤田明雄

中村祐治

17 川口喜三

佐竹惟信

18 幸田勝

前川良夫

19 北国和子(橋本)

五十崎彰

20 長澤慶一

桂川鉢一郎

21 上田良之助

毛利忍

22 真柴國彦

宮内彌

23 宮崎精一

吉田常一

24 吉浦稔

中井恒郎

25 中川好生

田辺尚二

26 岸岡暁

黒木芳昭

27 池田幸男

佐々木泰久

28 村田治

横田幸男

29 有持雅司

吉原喜彦

30 田中義人

48 松尾義博

31 菊田和彥

49 田中耕二

32 小川治

50 池田幸男

33 岩城剛

51 鈴木和伸

34 佐々木一郎

52 岩井昇

35 佐々木泰久

53 佐々木泰久

36 佐々木泰久

54 佐々木泰久

37 佐々木泰久

55 佐々木泰久

38 佐々木泰久

56 佐々木泰久

39 佐々木泰久

57 佐々木泰久

40 佐々木泰久

58 佐々木泰久

41 佐々木泰久

59 佐々木泰久

42 佐々木泰久

60 佐々木泰久

43 佐々木泰久

61 佐々木泰久

44 佐々木泰久

62 佐々木泰久

45 佐々木泰久

63 佐々木泰久

46 佐々木泰久

64 佐々木泰久

47 佐々木泰久

65 佐々木泰久

48 佐々木泰久

66 佐々木泰久

49 佐々木泰久

67 佐々木泰久

50 佐々木泰久

68 佐々木泰久

51 佐々木泰久

69 佐々木泰久

52 佐々木泰久

70 佐々木泰久

53 佐々木泰久

71 佐々木泰久

54 佐々木泰久

72 佐々木泰久

55 佐々木泰久

73 佐々木泰久

56 佐々木泰久

74 佐々木泰久

57 佐々木泰久

75 佐々木泰久

58 佐々木泰久

76 佐々木泰久

59 佐々木泰久

77 佐々木泰久

60 佐々木泰久

78 佐々木泰久

61 佐々木泰久

79 佐々木泰久

62 佐々木泰久

80 佐々木泰久

63 佐々木泰久

81 佐々木泰久

64 佐々木泰久

82 佐々木泰久

65 佐々木泰久

83 佐々木泰久

66 佐々木泰久

84 佐々木泰久

67 佐々木泰久

85 佐々木泰久

68 佐々木泰久

86 佐々木泰久

69 佐々木泰久

87 佐々木泰久

70 佐々木泰久

88 佐々木泰久

71 佐々木泰久

89 佐々木泰久

72 佐々木泰久

90 佐々木泰久

73 佐々木泰久

91 佐々木泰久

74 佐々木泰久

92 佐々木泰久

75 佐々木泰久

93 佐々木泰久

76 佐々木泰久

94 佐々木泰久

77 佐々木泰久

95 佐々木泰久

78 佐々木泰久

96 佐々木泰久

79 佐々木泰久

97 佐々木泰久

80 佐々木泰久

98 佐々木泰久

81 佐々木泰久

99 佐々木泰久

82 佐々木泰久

100 佐々木泰久

83 佐々木泰久

84 佐々木泰久

85 佐々木泰久

86 佐々木泰久

87 佐々木泰久

88 佐々木泰久

89 佐々木泰久

90 佐々木泰久

91 佐々木泰久

92 佐々木泰久

93 佐々木泰久

94 佐々木泰久

95 佐々木泰久

96 佐々木泰久

97 佐々木泰久

98 佐々木泰久

99 佐々木泰久

100 佐々木泰久

● 紡織科・織維工業科

一、〇〇〇円 円

7 岩倉晴美

8 石田正利

9 安田育雄

10 栗田重見

11 福永義一

12 加藤武之助

13 長井得治

14 長井静也

15 杉田喜三

16 平松秀一

17 加藤春堆

18 岩倉繁夫

19 渡辺信人

20 保坂民義

21 佐藤正隆

22 中村吉秀

23 田中豊三

24 佐藤正隆

25 佐藤秀一

26 佐藤義造

27 佐藤義造

28 佐藤義造

29 佐藤義造

30 佐藤義造

31 佐藤義造

32 佐藤義造

33 佐藤義造

34 佐藤義造

35 佐藤義造

36 佐藤義造

37 佐藤義造

38 佐藤義造

39 佐藤義造

40 佐藤義造

41 佐藤義造

42 佐藤義造

43 佐藤義造

44 佐藤義造

45 佐藤義造

46 佐藤義造

47 佐藤義造

48 佐藤義造

49 佐藤義造

50 佐藤義造

51 佐藤義造

52 佐藤義造

53 佐藤義造

54 佐藤義造

55 佐藤義造

56 佐藤義造

57 佐藤義造

58 佐藤義造

59 佐藤義造

60 佐藤義造

61 佐藤義造

62 佐藤義造

63 佐藤義造

64 佐藤義造

65 佐藤義造

66 佐藤義造

67 佐藤義造

68 佐藤義造

69 佐藤義造

70 佐藤義造

71 佐藤義造

72 佐藤義造

73 佐藤義造

74 佐藤義造

75 佐藤義造

76 佐藤義造

77 佐藤義造

78 佐藤義造

79 佐藤義造

80 佐藤義造

81 佐藤義造

82 佐藤義造

83 佐藤義造

84 佐藤義造

85 佐藤義造

86 佐藤義造

87 佐藤義造

88 佐藤義造

89 佐藤義造

90 佐藤義造

91 佐藤義造

92 佐藤義造

93 佐藤義造

94 佐藤義造

95 佐藤義造

96 佐藤義造

97 佐藤義造

98 佐藤義造

99 佐藤義造

100 佐藤義造

101 佐藤義造

102 佐藤義造

103 佐藤義造

104 佐藤義造

105 佐藤義造

106 佐藤義造

107 佐藤義造

108 佐藤義造

109 佐藤義造

110 佐藤義造

111 佐藤義造

112 佐藤義造

113 佐藤義造

114 佐藤義造

115 佐藤義造

116 佐藤義造

117 佐藤義造

118 佐藤義造

119 佐藤義造

120 佐藤義造

121 佐藤義造

122 佐藤義造

123 佐藤義造

124 佐藤義造

125 佐藤義造

126 佐藤義造

127 佐藤義造

128 佐藤義造

129 佐藤義造

130 佐藤義造

131 佐藤義造

132 佐藤義造

133 佐藤義造

134 佐藤義造

135 佐藤義造

136 佐藤義造

137 佐藤義造

138 佐藤義造

139 佐藤義造

140 佐藤義造

141 佐藤義造

142 佐藤義造

143 佐藤義造

144 佐藤義造

145 佐藤義造

146 佐藤義造

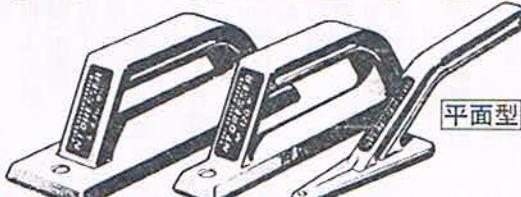
147 佐藤義造

148 佐藤義造

149 佐藤義造

42	戸田省吾	43	村上省一
43	金城繁	44	寺島太三朗
44	阪根秀昭	45	脇坂晃光
45	福田義雄	46	大倉敦和(青木)
46	寺中義光	47	
47		48	○○○円
48		42	中嶋幸男
49		43	藤田 実
50		44	谷川正一
51		45	井上俊二
52		46	松井芳春
53		47	中田美記雄
54		48	池田隆人
55		49	坂口雅彦
56		50	清水宏晃
57		51	小島克則
58		52	中島義雄
59		53	辻 一高
60		54	高橋 雅彦
61		55	科・卒年不明者
62		56	吉澤 雄一
63		57	大庭 錦三
64		58	○○○円
65		59	勇崎 務
66		60	岡本賀高
67		61	岡本賀高
68		62	岡本賀高
69		63	岡本賀高
70		64	岡本賀高
71		65	岡本賀高
72		66	岡本賀高
73		67	岡本賀高
74		68	岡本賀高
75		69	岡本賀高
76		70	岡本賀高
77		71	岡本賀高
78		72	岡本賀高
79		73	岡本賀高
80		74	岡本賀高
81		75	岡本賀高
82		76	岡本賀高
83		77	岡本賀高
84		78	岡本賀高
85		79	岡本賀高
86		80	岡本賀高
87		81	岡本賀高
88		82	岡本賀高
89		83	岡本賀高
90		84	岡本賀高
91		85	岡本賀高
92		86	岡本賀高
93		87	岡本賀高
94		88	岡本賀高
95		89	岡本賀高
96		90	岡本賀高
97		91	岡本賀高
98		92	岡本賀高
99		93	岡本賀高
100		94	岡本賀高
101		95	岡本賀高
102		96	岡本賀高
103		97	岡本賀高
104		98	岡本賀高
105		99	岡本賀高
106		100	岡本賀高
107		101	岡本賀高
108		102	岡本賀高
109		103	岡本賀高
110		104	岡本賀高
111		105	岡本賀高
112		106	岡本賀高
113		107	岡本賀高
114		108	岡本賀高
115		109	岡本賀高
116		110	岡本賀高
117		111	岡本賀高
118		112	岡本賀高
119		113	岡本賀高
120		114	岡本賀高
121		115	岡本賀高
122		116	岡本賀高
123		117	岡本賀高
124		118	岡本賀高
125		119	岡本賀高
126		120	岡本賀高
127		121	岡本賀高
128		122	岡本賀高
129		123	岡本賀高
130		124	岡本賀高
131		125	岡本賀高
132		126	岡本賀高
133		127	岡本賀高
134		128	岡本賀高
135		129	岡本賀高
136		130	岡本賀高
137		131	岡本賀高
138		132	岡本賀高
139		133	岡本賀高
140		134	岡本賀高
141		135	岡本賀高
142		136	岡本賀高
143		137	岡本賀高
144		138	岡本賀高
145		139	岡本賀高
146		140	岡本賀高
147		141	岡本賀高
148		142	岡本賀高
149		143	岡本賀高
150		144	岡本賀高
151		145	岡本賀高
152		146	岡本賀高
153		147	岡本賀高
154		148	岡本賀高
155		149	岡本賀高
156		150	岡本賀高
157		151	岡本賀高
158		152	岡本賀高
159		153	岡本賀高
160		154	岡本賀高
161		155	岡本賀高
162		156	岡本賀高
163		157	岡本賀高
164		158	岡本賀高
165		159	岡本賀高
166		160	岡本賀高
167		161	岡本賀高
168		162	岡本賀高
169		163	岡本賀高
170		164	岡本賀高
171		165	岡本賀高
172		166	岡本賀高
173		167	岡本賀高
174		168	岡本賀高
175		169	岡本賀高
176		170	岡本賀高
177		171	岡本賀高
178		172	岡本賀高
179		173	岡本賀高
180		174	岡本賀高
181		175	岡本賀高
182		176	岡本賀高
183		177	岡本賀高
184		178	岡本賀高
185		179	岡本賀高
186		180	岡本賀高
187		181	岡本賀高
188		182	岡本賀高
189		183	岡本賀高
190		184	岡本賀高
191		185	岡本賀高
192		186	岡本賀高
193		187	岡本賀高
194		188	岡本賀高
195		189	岡本賀高
196		190	岡本賀高
197		191	岡本賀高
198		192	岡本賀高
199		193	岡本賀高
200		194	岡本賀高
201		195	岡本賀高
202		196	岡本賀高
203		197	岡本賀高
204		198	岡本賀高
205		199	岡本賀高
206		200	岡本賀高
207		201	岡本賀高
208		202	岡本賀高
209		203	岡本賀高
210		204	岡本賀高
211		205	岡本賀高
212		206	岡本賀高
213		207	岡本賀高
214		208	岡本賀高
215		209	岡本賀高
216		210	岡本賀高
217		211	岡本賀高
218		212	岡本賀高
219		213	岡本賀高
220		214	岡本賀高
221		215	岡本賀高
222		216	岡本賀高
223		217	岡本賀高
224		218	岡本賀高
225		219	岡本賀高
226		220	岡本賀高
227		221	岡本賀高
228		222	岡本賀高
229		223	岡本賀高
230		224	岡本賀高
231		225	岡本賀高
232		226	岡本賀高
233		227	岡本賀高
234		228	岡本賀高
235		229	岡本賀高
236		230	岡本賀高
237		231	岡本賀高
238		232	岡本賀高
239		233	岡本賀高
240		234	岡本賀高
241		235	岡本賀高
242		236	岡本賀高
243		237	岡本賀高
244		238	岡本賀高
245		239	岡本賀高
246		240	岡本賀高
247		241	岡本賀高
248		242	岡本賀高
249		243	岡本賀高
250		244	岡本賀高
251		245	岡本賀高
252		246	岡本賀高
253		247	岡本賀高
254		248	岡本賀高
255		249	岡本賀高
256		250	岡本賀高
257		251	岡本賀高
258		252	岡本賀高
259		253	岡本賀高
260		254	岡本賀高
261		255	岡本賀高
262		256	岡本賀高
263		257	岡本賀高
264		258	岡本賀高
265		259	岡本賀高
266		260	岡本賀高
267		261	岡本賀高
268		262	岡本賀高
269		263	岡本賀高
270		264	岡本賀高
271		265	岡本賀高
272		266	岡本賀高
273		267	岡本賀高
274		268	岡本賀高
275		269	岡本賀高
276		270	岡本賀高
277		271	岡本賀高
278		272	岡本賀高
279		273	岡本賀高
280		274	岡本賀高
281		275	岡本賀高
282		276	岡本賀高
283		277	岡本賀高
284		278	岡本賀高
285		279	岡本賀高
286		280	岡本賀高
287		281	岡本賀高
288		282	岡本賀高
289		283	岡本賀高
290		284	岡本賀高
291		285	岡本賀高
292		286	岡本賀高
293		287	岡本賀高
294		288	岡本賀高
295		289	岡本賀高
296		290	岡本賀高
297		291	岡本賀高
298		292	岡本賀高
299		293	岡本賀高
300		294	岡本賀高
301		295	岡本賀高
302		296	岡本賀高
303		297	岡本賀高
304		298	岡本賀高
305		299	岡本賀高
306		300	岡本賀高
307		301	岡本賀高
308		302	岡本賀高
309		303	岡本賀高
310		304	岡本賀高
311		305	岡本賀高
312		306	岡本賀高
313		307	岡本賀高
314		308	岡本賀高
315		309	岡本賀高
316		310	岡本賀高
317		311	岡本賀高
318		312	岡本賀高
319		313	岡本賀高
320		314	岡本賀高
321		315	岡本賀高
322		316	岡本賀高
323		317	岡本賀高
324		318	岡本賀高
325		319	岡本賀高
326		320	岡本賀高
327		321	岡本賀高
328		322	岡本賀高
329		323	岡本賀高
330		324	岡本賀高
331		325	岡本賀高
332		326	岡本賀高
333		327	岡本賀高
334		328	岡本賀高
335		329	岡本賀高
336		330	岡本賀高
337		331	岡本賀高
338		332	岡本賀高
339		333	岡本賀高
340		334	岡本賀高
341		335	岡本賀高
342		336	岡本賀高
343		337	岡本賀高
344		338	岡本賀高
345		339	岡本賀高
346		340	岡本賀高
347		341	岡本賀高
348		342	岡本賀高
349		343	岡本賀高
350		344	岡本賀高
351		345	岡本賀高
352		346	岡本賀高
353		347	岡本賀高
354		348	岡本賀高
355		349	岡本賀高
356		350	岡本賀高
357		351	岡本賀高
358		352	岡本賀高
359		353	岡本賀高
360		354	岡本賀高
361		355	岡本賀高
362		356	岡本賀高
363		357	岡本賀高
364		358	岡本賀高
365		359	岡本賀高
366		360	岡本賀高
367		361	岡本賀高
368		362	岡本賀高
369		363	岡本賀高
370		364	岡本賀高
371		365	岡本賀高
372		366	岡本賀高
373		367	岡本賀高
374		368	岡本賀高
375		369	岡本賀高
376		370	岡本賀高
377		371	岡本賀高
378		372	岡本賀高
379		373	岡本賀高
380		374	岡本賀高
381		375	岡本賀高
382		376	岡本賀高
383		377	岡本賀高
384		378	岡本賀高
385		379	岡本賀高
386		380	岡本賀高
387		381	岡本賀高
388		382	岡本賀高
389		383	岡本賀高
390		384	岡本賀高
391		385	岡本賀高
392		3	

美しく仕上げる。



やすりの強さとサンドペーパーの細かさをかねた
これまでにない新しい研磨道具です。
専門家の道具だったやすりを、

九二

日本軒瓦株式会社 〒556 大阪市東住吉区中野4-3-29 電話(06)702-1551代表